

## 宗派 東日本大震災被災者受入助成金

# 震災10年 活動数減少受け終了へ

宗派・東日本大震災緊急災害対策本部は、東日本大震災被災地の子どもたちを対象にホームステイ（宿泊企画）を行う団体への助成金交付について、震災発生から10年を迎え活動数が減少していることから、今年度末で終了する。

2012年度から始まった同助成金は現在までに延べ179団体に8342万5000円を交付している。各地のホームステイ企画

には延べ3201人が参加。受け入れ先の同世代の子ども同士の間流や、原発事故以来野外で遊べなくなった子どもたちが海や川での水遊びを楽しむなど、ひとつときの保養となっていた。

今後は、東日本大震災東北教区現地緊急災害対策本部を中心に、被災地から離れて暮らす子どもや門信徒を対象とした里帰り企画などに取り組んでいく。